

車両感知器に関する  
調査表記入マニュアル

## 〔E090〕 車両感知器基本

この調査表は、車両感知器に関する基本的データを登録するためのものである。ただし、ここで対象とする車両感知器は道路管理者が設置したものとし、都道府県公安委員会が設置したものは省くものとする。

### 1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
  - 路線毎とする。
  - 車両感知器設置1ヶ所毎とする。 注)
  - 車両感知器の形式毎とする。

注) 上・下線同一箇所を設置されている場合は、設置箇所毎にデータを作成し、上・下線同一箇所である事を備考欄を利用し明記すること。

- (2) 車両感知器に関する写真・図面類については「E091車両感知器図面類」にて作成する。
- (3) 車両感知器に関する補修履歴については「E092車両感知器補修歴」にて作成する。

### 2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、



区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(Z) 所在地

該当する車両感知器の設置箇所の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AA) 設置箇所C：◆

センサーの設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
路面上（車道）	1 1	橋梁路面上	3 1
路側（道路端）	1 2	橋梁部上空	3 2
道路上空	1 3	橋梁部その他	3 9
道路その他	1 9	道路上空 +路面上（車道）	4 1
トンネル内路面上	2 1	横断歩道橋取付	5 1
トンネル内天井	2 2	その他	9 9
トンネル内その他	2 9		

(AC) 設置目的C

設置目的について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下共通	0
上り用	1
下り用	2

(AE) 形式C：◆

車両感知器の形式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
ゴムチューブ式	1 1
路上スイッチ式	1 2
踏み板式	1 3
超音波式	1 4
ループ式	1 5

区 分	コード
超音波＋ループ	1 6
そ の 他	9 9

(AG) 機能

車両感知器の機能について、20文字以内の日本語で記入する。

(AH) 通信回線区分C

通信回線について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
建設省専用	1
N T T	2
そ の 他	9

(AJ) 電力契約種別C

契約種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	
定額電灯	1	
従量電灯 A	2	注1)
B	3	
C	4	
公衆街路灯 A	5	
B	6	注2)
C	7	
業務用電力	8	
融雪電力	A	
低圧電力	B	
その他	9	

注1) 関西、中国及び四国電力株式会社では従量電灯のAとBを合せてAとし、沖縄電力株式会社では従量電灯のA、BおよびCの区分はない。

注2) 北海道、東北、東京、北陸、中部、九州及び沖縄電力株式会社では公衆街路灯のBとCを合せてBとする。

(AL) 電力契約番号

電力の契約番号を、20文字以内の数字で記入する。

(AN) 電力支払営業所名

使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名を、15文字以内の日本語で記入する。

(AO) メーカー名

メーカーの名称について、10文字以内の日本語で記入する。

(AP) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AQ) 市区町村C：◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401  
(検査数字は含まない)

## [E092] 車両感知器補修歴

この調査表は、車両感知器の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E090車両感知器基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

### 2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
検知器部分の取替え	1 1
〃 の修復	1 2
記録器部分の取替え	2 1
〃 の修復	2 2
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E090：車両感知器（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全国10文字			○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
所在地	全角30文字			○
設置箇所C	半角2文字		○	○
設置目的C	半角1文字			○
形式C	半角2文字		○	○
機能	全角20文字			○
通信回線区分C	半角1文字			○
電力契約種別C	半角1文字			○
電力契約番号	半角20文字			○
電力支払営業所名	全角15文字			○
メーカー名	全角10文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E092：車両感知器（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照